



## 令和4年度の修了式を迎えて

校長 富川 麗子

この一年間、保護者の皆様方、地域の皆様方には、本校の教育に御理解と御協力を賜り、本当にありがとうございました。本日は、令和4年度の修了式となります。

なお、3月4日(土)には、第53回卒業式が実施され、186名の卒業生が本校を巣立っていきました。心温まる、素晴らしい卒業式でした。次に、卒業式の式辞の一部を紹介し、今年度最後の学校長挨拶とします。

(前略)今日、旅立ちの日に、私からは、このような日だからこそ伝えたい、そんなメッセージを二つ贈りたいと思います。

まずは、「人との関りを大切にしてほしい」ということです。

調理の科学の一つとして、「味の相互作用」というものがあります。これは、「二種類以上の味を感じさせる物質が混ざった時に、味そのものに変化を起こす作用」のことをいいます。

例えば、皆さんが2年生の時に調理実験で行った、「かつおと昆布の混合出汁」は「味の相乗効果」と言われます。鰹だし、昆布だしは、それぞれ単品でも美味しいのですが、適量の2倍の鰹節や昆布を入れても、うま味が2倍になるわけではありません。かつお節の持つ「イノシン酸」と昆布の持つ「グルタミン酸」という味の個性である旨味成分が演奏を奏でるように合わさることにより、発生する味の相乗効果で、お互いの味のもつ良さが交わり、うま味が倍増し、ふくよかな深い味になるのです。

私たちの生き方に置き換えてみると、自分一人で物事を進めるより、他の誰かと協力して物事を行うことにより相乗効果が生まれて成果を発揮したり、自分に苦手なことがあったとしても、自分とは異なる強みをもつ人と協力したりすることで、新たな相互作用を生み出し、自分の新たな能力を発見し、自己の成長を一層高めるということにつながるのではないのでしょうか。皆さんが、自分の思う夢を信じ、そこに本気で立ち向かう時、多くの他の人との関りにより、「相互作用」で互いの能力を引き出すことが可能になります。ですから、人との関りを大切に、沢山のことを学んでください。

次に、「自分自身を成長させ続けてほしい」ということです。

本日の門出は、皆さんにとって、新たな学びへのスタートです。これからの皆さんが進む道は、好きなことだけをやっている状態にはありません。苦手なこと、嫌なことにも向きあっていかなければならない場面が多く出てきます。そのような時は、自分自身が成長する大きなチャンスです。諦めず、逃げることなく自分を大切に育ててください。

今週、10数年ぶりに行われた宇宙飛行士選抜試験に、28歳の米田あゆさんと46歳の諏訪理さんが合格したニュースが沸き起こりました。諏訪さんは2回目の挑戦です。米田さんは、幼少期に、宇宙飛行士である向井千秋さんの伝記を読み、宇宙への憧れを抱き、今回、宇宙飛行士の試験があることを知り、受験しない選択はないと思ったといいます。米田さんは、自分を成長させる夢をもち続けた、そこに、米田さんの力強さを感じずにはいられません。皆さんに送りたいメッセージは、「自分を成長させるためには、夢を抱き、その夢に向かって挑戦しようとする気持ちをもち続け、一歩一歩と前進するということです」。どんな夢をもち続け、どう実践し、その過程の中で何を経験するかで、人生は大きく変わるといえます。自分自身を成長させるために、皆さんは、若さを生かし、これからも大いに学び、人と関わり、様々なことを経験し、挑戦し続ける人であってほしいと思います。

(中略)本校のスローガンである「他者(ひと)のために、一歩先の自分へ」を忘れることなく、確かな足取りで歩んでいってください。



★『校長室だより』は本校 HP にも掲載しています。是非、HP でカラー版を御覧ください。  
★HPでは「東村山折々」・「月々の東村山」で学校の様子を紹介しています。併せて御覧ください。